

令和3年度 卒業証書授与式

八幡西中学校長 橋詰勝司

今年の冬は、ここ数年の冬と比べると格段と寒さが厳しく、雪の多い、「郡上らしい冬」となりました。その名残が残る3月8日、無事、卒業式を挙行することができました。コロナ対策のため、残念ながら来賓や地域の皆様には参列していただくことができませんでしたが、保護者、在校生、教職員に見守られながら、卒業生は、一人一人が立派に卒業証書を受け取りました。



3年生は、これまで、体育祭や合唱祭の行事はもちろん、普段の生活の中でも、ことあるごとに「感謝」という言葉を口にしてきました。様々な行事ができることは当たり前ではなく、その陰には多くの人々の理解や力添えがあったことを理解していました。だからこそ、合唱祭では、感謝の想いを載せた合唱を、会場に響き渡らせ、聴く人に感動を呼び起こすことができました。

また、3年生が、「感謝の想い」と共に大切にしてきたのは、「つながり」でした。2年生が作った継志の会のしおりの中にも、「3年生のみなさんは、ソーシャルディスタンスが重要視されるコロナ禍の中で、心の距離を縮めようと活動を工夫してくださいました」とありました。体育祭では、自分たちの学級のつながりを高めることはもちろん、下級生にも積極的に関わり、アドバイスをし、縦のつながりを深めることにチャレンジしました。10月8日の前期の最終日には、駐車場で生徒と教職員みんなで下駄の音を鳴らしながら郡上踊りを踊った「共舞」。それも、全校生徒64人のつながりを深めるための本年度の新たな取り組みでした。

「感謝」と「つながり」は3年生が残してくれた素晴らしい財産ですが、もう一つ大切なものがあります。文部科学省では、これからの日本がめざす学校教育として、「主体的・対話的で深い学び」という言葉をキーワードにあげています。本校では、3年生が中心となり、コロナ禍の様々な制約の中でも臨機応変に対応し、行事を工夫してやり切りました。それはまさに、文部科学省の言うところの主体的に自分たちの生活をつくり出す姿でした。体育祭でも合唱祭でも、生徒会活動でも、その力を思う存分、発揮してきました。

3年生は、中学校生活の3分の2を、コロナとの戦いの中で過ごしてきました。それは、不便で、制約の多い学校生活でもありました。しかし、コロナ禍だったからこそ、より力をつけることができたと言えるかもしれません。これからも、感謝の心やつながり、そして主体的に生きる力を人生の基盤とし、コロナ後の生活の中で、これまで蓄えた思いや力を思う存分発揮し、自分たちの新たな生活をつくり出していってくださることを願っています。

卒業生代表による答辞

コロナ禍で様々なことが制限される中、自分達らしさを出し、学年を超えた繋がりを深めたことは私たちの財産でした。(中略)

これらの財産が得られたのは、一人一人が仲間を大切にする気持ちがあったからです。きっかけは二年前の突然の休校でした。今まで当たり前だった学校生活は当たり前でなくなり、仲間とも会えない日々が続きました。3ヶ月ぶりにクラスの仲間全員と会えたあの日のことを今でもはっきりと覚えています。その時、仲間がそばにいることのありがたさを改めて感じました。そして、何事にも感謝の気持ちを持つようになりました。どんな活動を行う時でも感謝の気持ちを持ち、今できることを全力で楽しみました。仲間と共に学校生活を送る中で、壁にぶつかることや、思うようにいかないこともありました。私はこの仲間を誇りに思います。何かを達成するたびに喜び合ったこと、些細なことで笑ったり、時には涙を流したりしたことは忘れられません。(中略)

私たちが様々な活動に挑戦できたのも1・2年生の皆さんのおかげです。いつも進んで協力し、私たちを支えてくれてありがとう。来年度は「繋がりを深め、一体となって創る学校」を目指し、伝統を引き継ぐと共に、自分達らしさを活かした素晴らしい八幡西中学校にしていってください。と、卒業生を代表して、武藤結香さんが答辞を述べました。



卒業のお祝い・アレンジフラワーをいただきました

卒業のお祝いとして、相生公民館と那比公民館、そして相生地区自治会連合会より、印刷用紙をいただきました。また、西乙原の畑佐美和子さんが卒業式会場を明るく彩るアレンジフラワーを活けてくださいました。

冬場の歩道の日当たりに支障をきたす樹木の伐採と見守り

学校西側の歩道は、冬場に雪が降ると凍結し、坂道のために危険な状態になります。しかし、学校敷地内の樹木により日当たりが遮られ、なかなか歩道の氷が溶けずに困っていました。そのことを心配してくださった神座さんが、いつもお世話になっている小林さん、中村さん、梶田さん、さらに上野得則さん、渡辺雅裕さん、戸田和昭さんにご協力くださり、2月26日と27日の2日間、支障木の伐採をしてくださいました。児童・生徒の安全へのご配慮をありがとうございました。

また、伊東信義さんは、卒業生が学校に通った3年間、毎日のように子供たちの安全を見守り、元気が出るような声かけをしてくださいました。現在は、井上行雄さんが毎朝の見守りをしてくださっています。ありがとうございます。



「福祉の日」の収益と使い道

中学校では、毎週金曜日を「福祉の日」とし、生徒会執行部が中心となってアルミ缶や牛乳パック、ペットボトルキャップの回収をしています。毎年、その収益金を様々な団体に寄付していますが、今年は生徒会執行部が全校生徒にアンケートを取って寄付先を決定しました。決定した寄付先は、世界で困っている人への寄付ということで、ユニセフに決められました。寄付額は、24,949円で、これは、アルミ缶の回収益や地域の方から寄付していただいた伐採した木の売却益 3,175 円などを合わせたものです。

また、ペットボトルキャップはこれとは別に、NPO 法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」に送り、今年は 154 kg、66,220 個、77 人分のポリオワクチンに代わりました。

八幡西中学校では、昨年度分までを合わせると、これまでに 798 kg、343,140 個、399 人分のポリオワクチンを発展途上国の子どもたちに届けています。



生徒の活躍

～表彰や入賞、おめでとうございます～

☆凌霜賞

<u>3年</u>	清水 陽	井藤 潤	小林愛郷	平野雄大	平山晴翔
	淵上翔瑚	武藤 空	武藤大河	和田 樹	渡邊仁貴
	足立佳音	兼定百花	小森夏凜	長尾 春	林 愛萌
	武藤叶実	武藤 環	武藤結香		

☆公民館表彰（◎…3年間公民館中学生理事を努めた生徒です）

<u>3年</u>	◎足立佳音	◎兼定百花	◎小林愛郷	◎小森夏凜	◎清水 陽
	◎長尾 春	◎林 愛萌	◎平野雄大	◎平山晴翔	◎淵上翔瑚
	◎武藤叶実	◎武藤 空	◎武藤大河	◎武藤結香	◎渡邊仁貴
	◎和田 樹	◎武藤 環			
	井藤 潤	蒲 皓貴	松山 航	武藤焯聖	
<u>2年</u>	加藤颯人	藤田桃歌	武藤歩莉	村土 宗	可児頼燈
	中村日香	松本彩愛	旭 秀太		
<u>1年</u>	櫻井翔太	平野友悠	武藤凰也	武藤康生	武藤陽飛
	武藤侑斗	伊藤暖絆	和田暖佳		

☆郡上市福祉標語 最優秀賞 佐藤柚月 佳作 武藤明里

☆第42回ホームソーイング小中高校生 作品コンクール 努力賞 村土 宗

4月

- 7日(木) 始業式 ※給食なし
- 8日(金) 入学式 ※2,3年弁当
- 12日(火) 全校実力テスト
- 19日(火) 全国学力・学習状況調査
- 22日(金) PTA総会・授業参観①・懇談会

5月

- 2日(月)・6日(金) 家庭確認
- 15日(日) 小中合同リサイクル①
親子環境整備活動①

6月

- 2日(木) 体育祭 ※弁当
- 13日(月) 2,3年実力テスト
- 22日(水) 2,3年あゆパーク研修
- 24日(金) 命をつなぐ訓練

7月

- 1日(金) 授業参観②・懇談会
- 21日(木)～8/25(木) 夏休み
- 25日(月)～27日(水) 三者懇談

8月

- 21日(日) 小中合同リサイクル②
- 29日(月)・30日(火)
前期期末テスト

9月

- 8日(木)～9日(金) 1年郡上研修
- 14日(水)～16日(金) 3年広島研修
- 28日(水)～30日(金) 2年若狭研修

10月

- 2日(日) 親子環境整備活動②
- 26日(水) 3校合唱交流 (予定)

11月

- 2日(水) 3年実力テスト
1,2年後期中間テスト
- 18日(金) 合唱祭
- 30日(水)～12/2(金) 三者懇談

12月

- 7日(水) 人権集会
- 19日(月) 3年実力テスト
- 21日(水) 入学説明会
- 27日(火)～1/9(月) 冬休み

1月

- 10日(火) 1,2年実力テスト
- 19日(木)・20日(金)
3年後期期末テスト

2月

- 10日(金) 継志の会
- 17日(金) 授業参観③
- 21日(火)・22日(水)
1,2年後期期末テスト

3月

- 7日(火) or 8日(水) 卒業式
※変更もあります
- 24日(金) 修了式・離任式

